

安心と笑顔のために

日本共産党札幌市議団ニュース

No. 309 2023年3月14日

日本共産党札幌市議団 事務局 TEL 211-3221 / fax 218-5124

ウィンタースポーツを子ども達へ

3月6日 予算特別委員会 スポ・農業委・経観関係 さとう綾委員

札幌市では、子ども達がウィンタースポーツを始めるきっかけ作りと学習環境の充実を図るために、小中学生を対象に、スキーリフトやスケートの貸し靴クーポン券などの配布、ウィンタースポーツ塾や体験会などを実施しています。これらをさらに充実して欲しいとさとう市議が質問に立ちました。

同市議は最初に「今年度の実施状況と対象数に対しての応募数もあわせて伺い致します。また、来年度の実施についてはどうお考えか」と質問。市の担当者は「募集人員1400名に対し、2967名の応募がございまして、約2.1倍の倍率。このような結果を踏まえ、来年度については、募集人員を2700名と大幅に拡大してまいります」と約2倍になることが明らかになりました。同市議は重ねて、スキークーポン券対象スキー場の拡充、利用期間の延長、利用回数を増やすことを求めました。市の担当者は、「この利用可能なスキー場については、承諾をいただきましたスキー場のみを対象としているもの。使用期間の延長につきましては、本事業がスキーに触れるきっかけを作ることを目的としておりますことから、利用者のニーズを踏まえ検討してまいりたい」と前向きな答弁でした。また利用回数については「来年度につきましても、新規に未就学児を対象としたスキー用具のレンタル料助成を行うことでさらなるスキーに親しむ機会の拡大を図る」と拡大を明らかにしました。

最後にさとう市議は「子ども達が楽しめるよう、ウィンタースポーツ振興に繋がる施策さらに充実を」と求めました。

宮の森ジャンプ台を壊すのか

3月6日 予算特別委員会 スポ・農業委・経観関係 小形香織委員

大倉山ジャンプ競技場に宮の森ジャンプ台を併設するデュアル化計画の問題を受けて、小形市議が質問に立ちました。

同市議は最初に「宮の森ジャンプ台の解体費用はいくらを見積もっているのか伺いたと思います」と簡潔に質問。市の担当者は「後利用の検討が進むことで解体の有無についても明らかになっていくことから、その費用についても今後の検討の中で精査」と何も決まっておらず、費用も明らかにしていませんでした。質疑の中で、新ジャンプ台の建設費用が全体で90億円かかると試算していることが明らかになり、日本のスキージャンプの選手が金銀銅を飾った大変輝かしい場所、これまで維持管理も含めて手をかけてきたのに、レガシーを無くすのかと市議は批判しました。また「樹木や夜景にも影響すると思いますけども、認識を伺います」と質問。市の担当者は「緑化率50%以上の確保が求められ、合致するよう検討を進めていく。大倉山ジャンプ競技場の整備が景観に悪影響を及ぼすものではないというふうに考えておりますが、景観にも十分配慮しながら検討を進める」として、伐採はしないという確約はしませんでした。

小形市議は最後に「今の大会概要計画はプラス面ばかり強調している。失うもの、あるいは壊すもの、そのためにかかる費用などもちゃんと市民に示していくべきではないか。正直に市民に示して、デメリットも含めて明らかにして信を取るべきだ」と市に求めました。

このニュースを地域民報への転載や各支部への配布など、積極的に活用してください。